

提 案 書 評 価 要 領

(1) 技術者評価基準

評価の着目点			評 価		
			A	B	C
資格要件	技術者資格	技術者資格、その専門分野の内容	技術士資格（建設部門の都市及び地方計画）又は、一級建築士を有する	R C C M（都市計画及び地方計画）又は、二級建築士を有する	左に該当しない（管理・照査技術者の場合、特定しない）
専門技術力	業務執行技術力	平成 22 年 4 月 1 日から公告日までに完了した同種又は類似業務の実績の内容	同種業務の実績がある	類似業務の実績がある	同種又は類似業務の実績がない（管理・照査技術者の場合、特定しない）
専任性 ※照査技術者には適用しない	専任性	手持ち業務金額及び件数（500 万円以上のもので特定後未契約のものを含む）	0 件	左右に該当しない	全ての手持ち業務の契約金額合計が 3 億円以上又は手持ち業務の件数が 10 件以上（担当技術者の場合は 5 件以上）（特定しない）
情報収集力 ※照査技術者には適用しない	地域精通度	平成 22 年 4 月 1 日から公告日までに完了した佐賀県内の同種又は類似の業務実績の有無	佐賀県内において同種又は類似の業務実績がある	－	左に該当しない
実施体制	実施体制	担当技術者の配置予定人数	担当技術者を 3 名配置している。	担当技術者を 2 名配置している。	担当技術者を 1 名配置している。
ヒアリング	専門技術力	専門技術力の確認	実績として挙げた業務の担当分野に、中心的・主体的に参画したことが確認できる	左右に該当しない	実績として挙げた業務の担当分野に、中心的・主体的に参画したことが確認できない
	コミュニケーション力	質問に対する応答性	質問に対する応答が明快かつ迅速	左右に該当しない	質問に対する応答が難解であり、緩慢
	取組姿勢	業務への取組意欲	業務への取組意欲が旺盛かつ適切な質問、意欲表明あり	左右に該当しない	業務への取組意欲がない

提案書評価要領

(2) 提案内容評価基準

評価項目	評価の着目点	評 価		
		A	B	C
実施方針・実施フロー・工程表	業務の理解度	目的、条件、内容が簡潔に表現されている	左右に該当しない	目的、条件、内容が簡潔さに欠ける
	業務の実施手順	業務実施手順が妥当	左右に該当しない	業務実施手順に矛盾がある
		業務量の把握が適切	左右に該当しない	業務量の把握が不適切
特定テーマに対する技術提案	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件に整合する	左右に該当しない	与条件との整合が十分でない
		必要な項目が網羅されている	左右に該当しない	必要な項目が全く示されていない
		事業の重要度を考慮した提案となっている	左右に該当しない	事業の重要度に対して提案内容が不釣り合い
	実現性	提案内容に説得力がある	左右に該当しない	提案内容が荒唐無稽である
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている	左右に該当しない	提案内容の裏付けが明らかでない
		利用しようとする計画・資料が適切	左右に該当しない	利用しようとする計画・資料が不適切
	独創性	住宅・福祉分野の専門的知見に基づく前例のない提案である	左右に該当しない	マニュアルなどに準拠した内容に終始している
		周辺・異分野の取組みを援用した、高度の検討の提案である	左右に該当しない	一般的な検討のみで提案に工夫が見られない
参考見積		－	提案内容に相応しい見積りとなっている	提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は、提案内容に対して見積りが不適切 (特定しない)

(3) その他

- ・担当技術者が複数人の場合は、平均点で評価する。
 - ・評価基準ごとの各審査委員の評価の総計の合計点を踏まえ、審査委員会の意見を聴取し、最終的に審査委員会の委員長が最優秀提案者を決定する。
- なお、最優秀提案者として決定する者は、合計点が6割以上に達していることを条件とする。